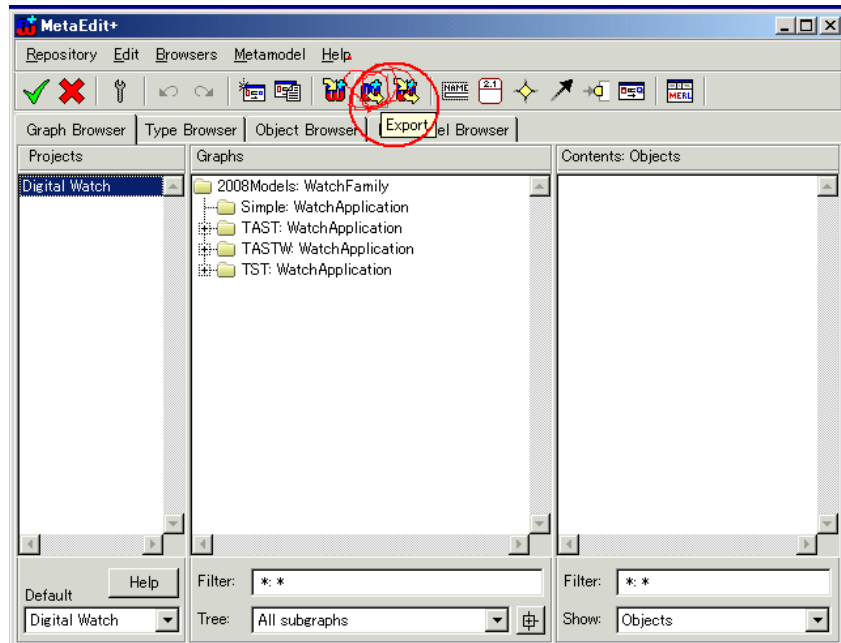


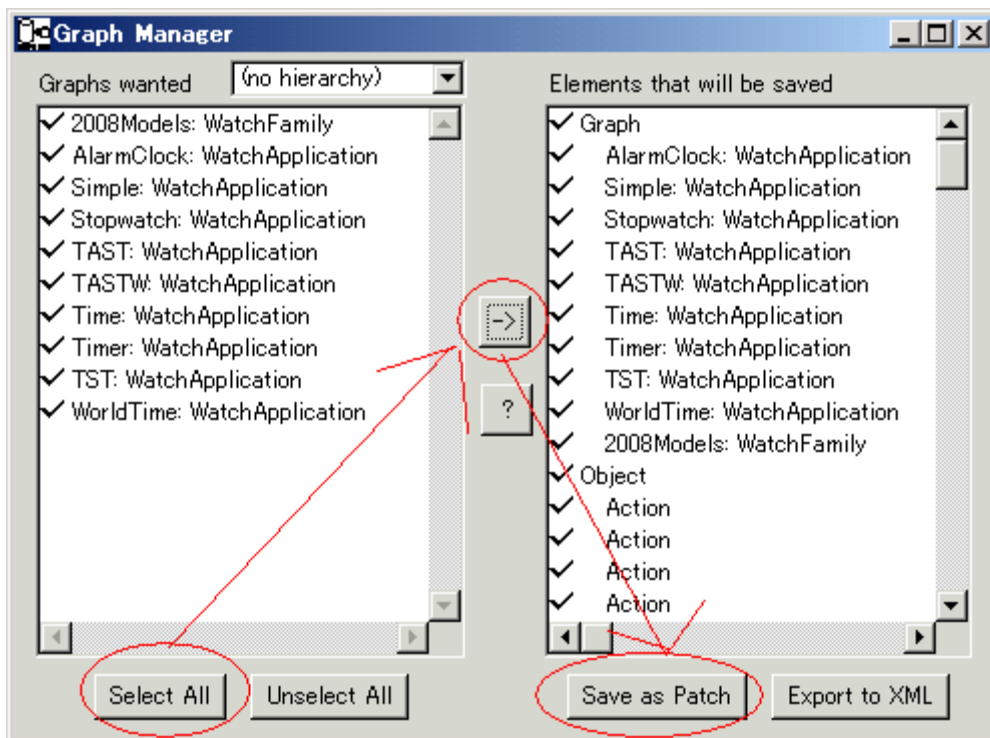
< MetaEdit+ プロジェクトの エクスポート・インポート手順 >

< エクスポートの手順 >

1 : エクスポートさせたいプロジェクトを読み込ませて、以下の Export ボタンを押す



2 : 以下の手順で要るものを選び (この例では全部) Save させる。
 .mec ファイルとしてエクスポートされます。



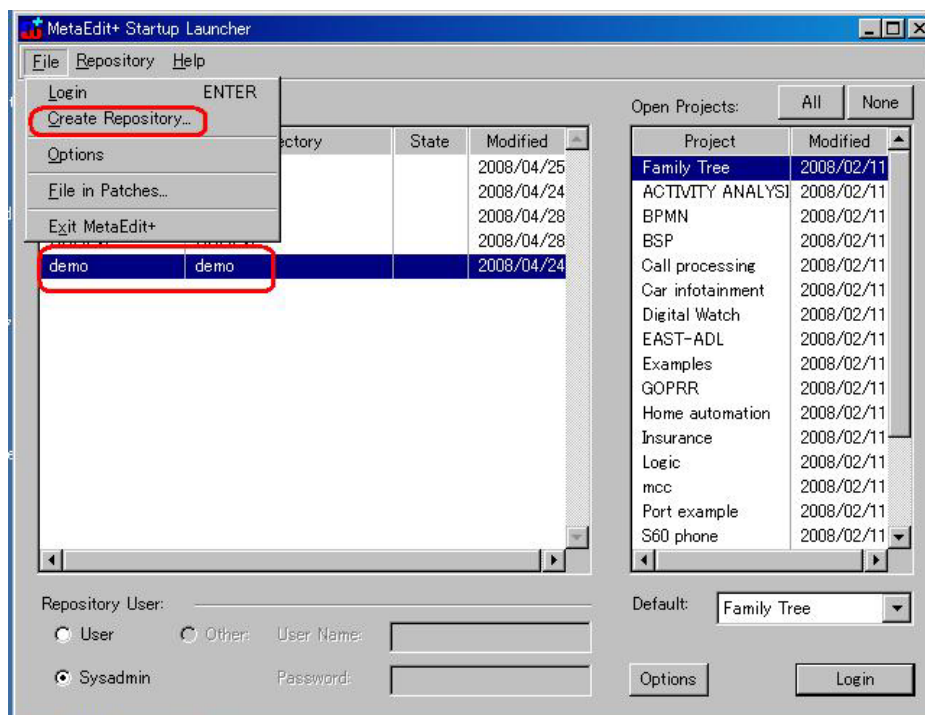
< .mec ファイル インポートの手順 >

- 1 . 適当なプロジェクトでログインする
- 2 . Projects のところで右クリックし、New メニューを選択 (表示されるダイアログには、Yes ボタンを押す)
- 3 . プロジェクト名の入力ダイアログが表示されるので、追加したいプロジェクトの名前を入力
- 4 . Projects のところで右クリックし、Close メニューを選択
- 5 . 読み込まれているプロジェクトが一覧表示されるので、最初に読んだプロジェクトを選択して閉じる
- 6 . アバダンボタン (赤い X のボタン) を押す
- 7 . Repository - > Import メニューを選択し、更新したいプロジェクトを指定してインポートする
- 8 . コミットボタン (緑のチェックマークボタン) を押す

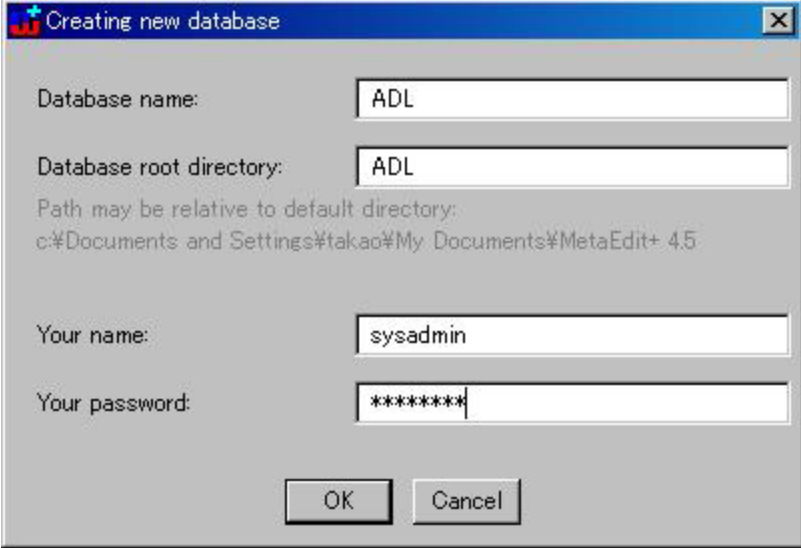
< インポートの手順 新規リポジトリを作成する場合 >

以下では、ADL 用のプロジェクトをインポートする例を用いて新規リポジトリ設定とプロジェクトのインポートについて紹介します。


新規レポジトリを作成するために、MetaEdit+のメインランチャーで Demo レポジトリが選択された状態で、File->CreateRepository を選択します。



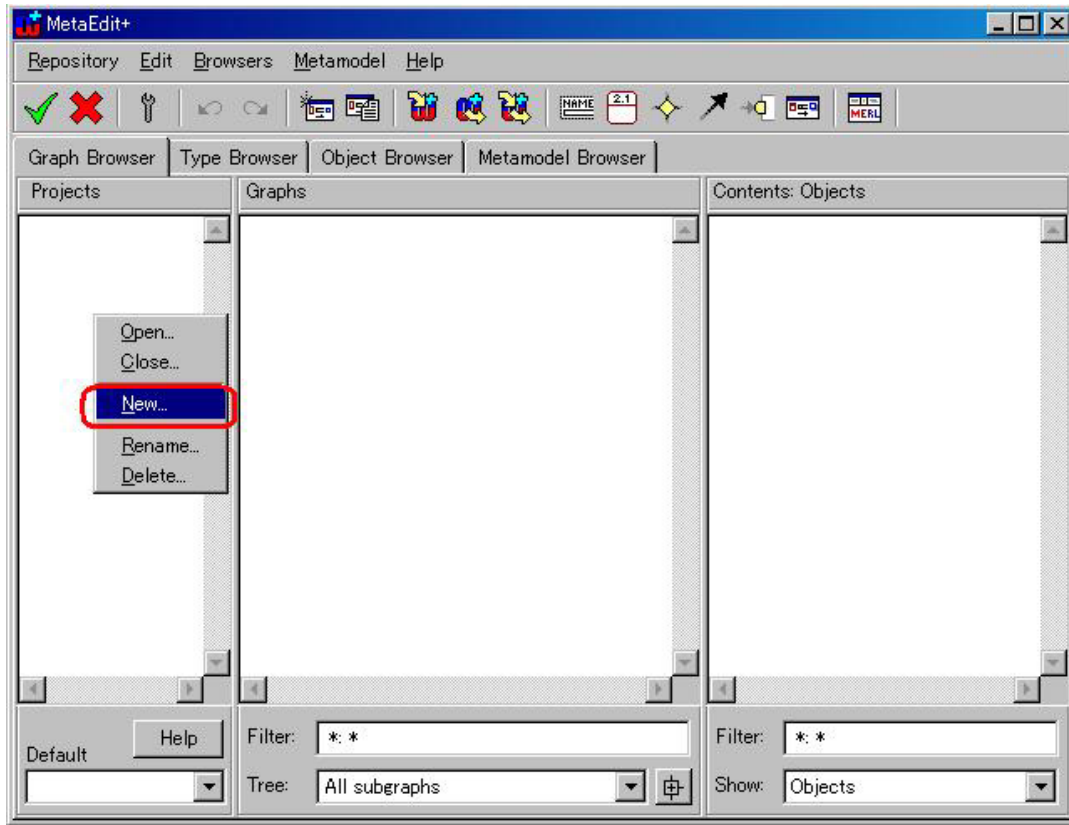
Creating new database ダイアログで以下の様に入力し、OK ボタンをクリックします。
(name、password には、sysadmin とされることをお勧めします。そうすることで、次回立ち上げ時にユーザー名や、パスワードを聞かれることを回避することができます)



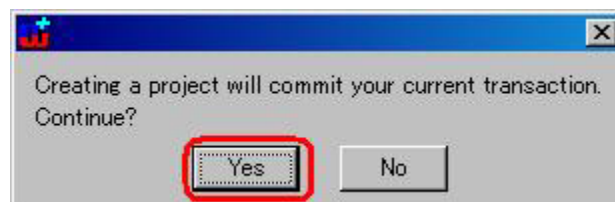
OK ボタンをクリックで、パスワードの再入力ダイアログが表示されますので、パスワードを再入力。
(で入力した Database root directory が存在しない場合は、作成を確認するダイアログで Yes ボタンをクリック)



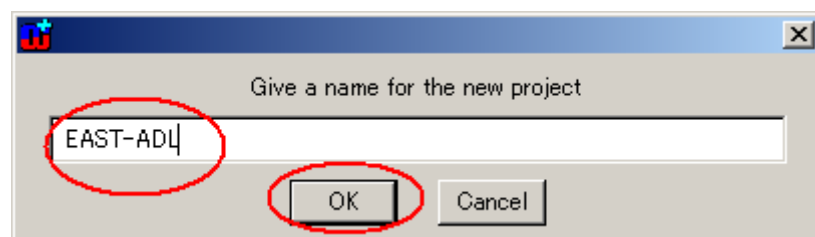
(まず、空の EAST-ADL Project を作成し、モデルをインポート) MetaEdit+のメイン画面が開きます。Projects で右クリックし、コンテキストメニューで New を選択。



以下のダイアログには Yes をクリック。



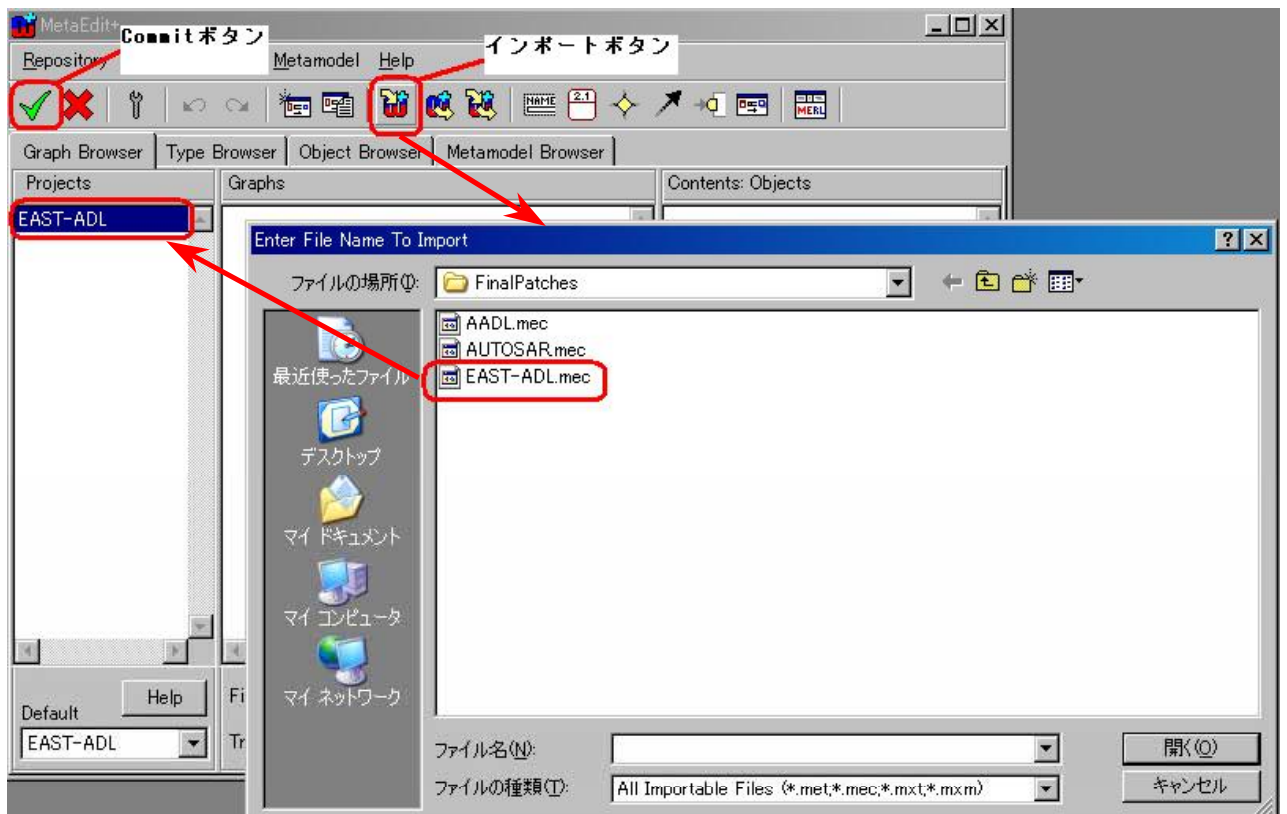
表示されるダイアログで EAST-ADL を入力し、OK ボタンをクリックすると、EAST-ADL が Projects に作成されます。



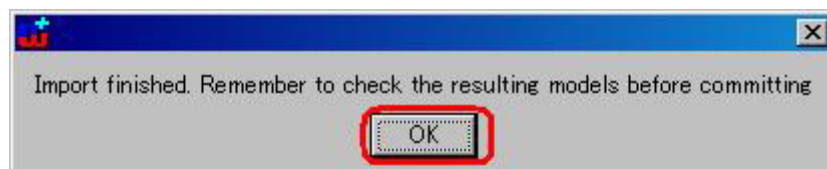
以下のダイアログが表示された場合は OK をクリック。



インポートボタンをクリックして、ダウンロードした EAST-ADL.mec を指定し、Commit ボタンをクリックします。



以下のダイアログには OK ボタンをクリック。



以上